

社会の高齢化に伴い、認知症の予防が重要な課題となっています。

DHAやホスファチジルコリン(PC)には、脳機能の改善効果が示唆され、これらを豊富に含むカズノコ油の投与実験で記憶学習能力の向上が確かめられています。

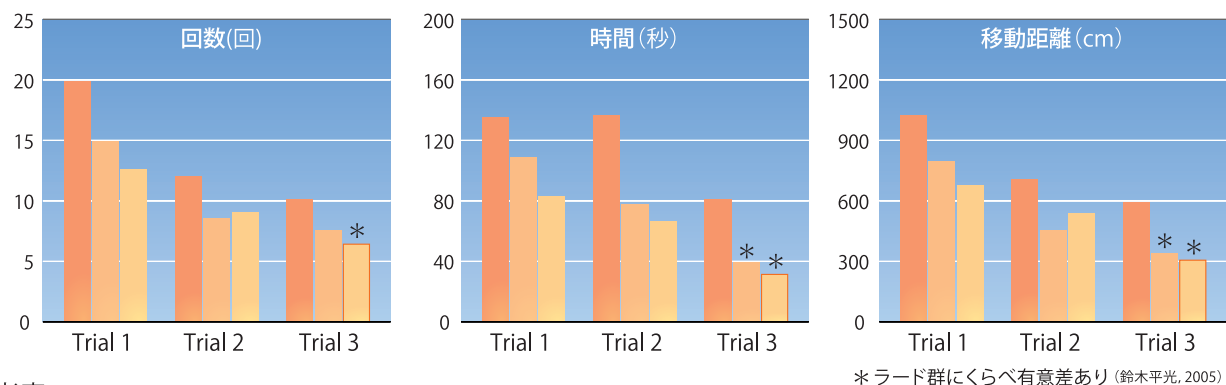
◆方法：

11ヵ月齢の雄マウスを3群に分け、ラード、カズノコ油、魚油(カズノコ油と同量のEPA、DHAを含むよう調整)をそれぞれ5%含むエサを4ヵ月与えた後、迷路を用いた学習行動実験を3回行い、出口に到達するまでの時間、移動距離、迷った回数を比較しました。

◆結果：

カズノコ油群は、3回目の到達時間、移動距離、迷った回数ともにラード群にくらべて有意に低下しました(図7)。魚油群も到達時間、移動距離が有意に低下しましたが、迷った回数はラード群と有意な差が認められませんでした。

図7 カズノコ油による記憶学習能力の向上



◆考察：

カズノコ油群、魚油群ではラード群にくらべ、血漿および脳の脂肪酸に占めるDHAの比率が高まっていることも確認されました。

これらの結果から、カズノコ油は魚油と同等以上の記憶学習能力向上効果があると考えられます。

KEY WORD 認知症

わが国の認知症人口は約200万人と推定され、65歳以上の高齢者人口に占める頻度は8%にのぼるとみられています。

認知症人口の将来推計

